

小松原健 (KEK素核研) 2011.August.09(Tue) タウンミーティング@J-PARC



2007年7月 ハドロンホール 建屋が完成











2011年8月9日火曜日







● <u>現在の実験:KOTO</u> の復旧とスケジュール

● TREK実験







中性K中間子の稀崩壊実験:物理の目的



CP 対称性を破る ⇒ クォークフレーバー混合の 複素位相

宇宙の「物質・反物質の非対称」の起源

NP possibility in $K \rightarrow \pi v v$



FlaviAnet http://www.lnf.infn.it/wg/vus/

G. Isidori – Summary of WG6: CKM fits & NP







New physics is there !!

大阪大、京都大、佐賀大、山形大、防大 + KEK + 米、韓、台、露 による 国際共同実験(65名の研究者が参加) <u>d</u>

J-PARC での 最初の K崩壊実験









 $K^0_L \rightarrow \pi^+ \pi^- \pi^0$

 $M_{\pi^*\pi^*\pi^0}$ (MeV/c²)

実験エリアを構築して カロリメータを建設(2010年度)





2011年2月





2011年8月9日火曜日



結晶とPMTsに 損傷がないことを 確認









2011年8月9日火曜日



PAC (2011.July) での加速器(小関さん)のスライドから

加速器チームが目指す

SXのビームパワー

SX power upgrade plan (mid-term)

Plan made before the earthquake			Plan made after the earthquake		
	User operation	Accelerator study		User operation	Accelerator study
2010.10-2011.6	5 kW	10 kW			
2011.7—9(shutdown)	SX collimators		2011.6-11(shutdown)	SX collimators	
2011.10-2012.6	10 kW	50 kW	2011.12-2012.6	3 kW	5 kW
2012.7-2013.1 (shutdown)	Li 400 MeV/Ti c	hambers (ESS,SMS)	2012.7-2012.9(shutdown)	Ti chambers (SMS)	
2013.2-2013. 6	10 kW	50 kW	2012.10-2013. 6	10 kW	50 kW
2013. 7–9 (shutdown)	Li 50 mA		2013. 7–2014. 1 (shutdown)	Li 400MeV/50 mA,	Ti chambers (ESS)
2013. 10-2014. 6	50 kW	100 kW	2014. 2–2014. 6	50 kW	100 kW
2014.7 – 9(shutdown)			2014.7 – 9(shutdown)		
2014. 10-	100 kW		2014. 10-	100 kW	

2011.12-2012.6: Recovery of the operation in the autumn 2010.2012 summer: Installation of Ti chambers in the SMS section.2013 summer: Installation of ESS with Ti chambers.

before the earthquake



Power for accelerator study Power for Users operation



遅い取り出しビームの<u>時間構造</u>





KI.IBRビームライン(2010年度)
0.8GeV/c → 静止 K+ 崩壊

 トロイダルスペクトロメータ (KEKPSのE246測定器)を移設



- 測定器の改造:
 - トラッキング:GEM
 - ミュオンの偏極測定:

activeなPolarimeter





$$K^+ \rightarrow \mu^+ N_{\pm}$$
い sterile ニュートリ monochromatic



将来計画:KOTO-step2

 $K_L \to \pi^0 \nu \overline{\nu}$ 分岐比測定 (>100 events, S/N=5)

「30GeVのI6度取り出し」 は KLの yieldが最適でない。

⇒ ハドロン実験施設に新たに中性ビームラインをつくる



分岐比

10-5



将来計画:KOTO-step2 $K_L \rightarrow \pi^0 \nu \overline{\nu}$ 分岐比測定 (>100 events, S/N=5)

「30GeVのI6度取り出し」 は KLの yieldが最適でない。

⇒ ハドロン実験施設に新たに中性ビームラインをつくる



拡張されたホールでビームダンプ後方に実験エリアを設置する案.



- 崩壊領域 IIm (xI.7)
- カロリメータ 3mΦ



将来計画:KOTO-step2

 $K_L \rightarrow \pi^0 \nu \overline{\nu}$ 分岐比測定 (>100 events, S/N=5)



- 30GeV
- SXのビームパワー
 - 3E14 ppp (第一期の設計パワーのx1.5) : 450kW に相当する
- SXビームの時間構造

 実効ビームタイムを増やす (SX運転も"Snowmass year"で)

外国のラボとの競争 (ヨーロッパ)

$K^+ \rightarrow \pi^+ \nu \nu$

- CERN NA62
 - 100 SM events with S/N = 10 in 2 years run
 - Decay in flight ⇔ stopped in BNL exp't



- Frascati KLOE2: medium decays, Ks decays (TREK-P36とは競争)

外国のラボとの競争



Fermilab Physics Advisory Committee Meeting June 21-26, 2011 – Snowmass, CO

Comments and Recommendations

chaired by Douglas Bryman (UBC)

Project X

The Project X accelerator complex is the heart of the future Fermilab flagship projects at the Intensity Frontier. It consists of a 3-GeV continuous-beam superconducting linac with 1 mA, followed by an 8-GeV pulsed linac and the existing 120-GeV Main Injector. The 3-GeV linac will supply a total beam power of 3 MW. The beam will have a variable time structure and will be delivered simultaneously to kaon, muon, and nuclear physics experimental areas. At the same time, the Main Injector ring, with a beam power of 2 MW, will produce a high-intensity neutrino beam to LBNE.

Project X will provide extraordinary experimental opportunities, including extending the reach of longbaseline neutrino oscillation experiments as well as a potential short-baseline neutrino program, the study of charged lepton flavor violation with muons, the study of rare charged and neutral kaon decays, and will have nuclear physics and energy applications. Options for the initial suite of experiments were identified in a series of Project X physics workshops organized by Fermilab, the most recent in 2010.

The Committee was impressed with the success of the workshop series and was pleased to learn that the MOUs for the accelerator R&D program have been established. The collaboration being formed comprises several international partners, including a sizable Indian component that plans to provide valuable in-kind contributions. The Illinois Accelerator Research Center will host the accelerator teams.

Given the budget profile, the Committee is concerned that the cost and timeline of the LBNE project may seriously delay the start of Project X. The Committee encourages the Project X leadership to explore the possibility of expanding the international partnership to reduce the impact of this project on the US HEP budget, and therefore facilitate its coexistence with the LBNE project. The Committee recommends that the Fermilab management make all possible efforts to keep Project X on schedule in view of the potential international competition. A substantial delay in the start of the project would be especially detrimental to the kaon physics program in the US, which, unlike the neutrino and muon efforts, is presently absent. Fermilab should make every effort to ensure the healthy growth of US kaon program which has great physics reach. Finally, the Committee would like to better understand how the current Project X frontend can be upgraded to become the proton driver for a future neutrino factory or muon collider.

<u>まとめ</u>

● K崩壊:

J-PARCでしかできない フレーバー物理の重要テーマ

- KOTO実験は2013年に立ち上がって 最初の物理成果を出す。
- 将来計画(KOTO-Step2): また新たに 中性ビームラインをつくって $K_L \rightarrow \pi^0 \nu \overline{\nu}$ の分岐比測定を行う。

Xの絵 (航空字) 1レクシ 佐 35) さ には、 時作「を いたんは いていく	粒子ビームの作り方 K中間子 原子核 原子核 中性子 パイ中間子 ミュー粒子 3GeV加速器 単性子 シューセチョ コートリノビーム(岐阜・神岡へ) - 500メートル	見象。金属原子の時島構造 物質の構造を調べる方法と 抵抗がゼロになるのが超伝導 見方が有力だ。
いてい	や職業など軽い元素の動きの と期待する。 中職業など軽い元素の動きの と期待する。 本 中職業など軽い元素の動きの に存在しないストレンジクォ 「宇宙になぜ反物質がない のか」というのが物理学の大きなナソ。宇宙院などが反対の反物質 に反粒子)が同数生まれ、すぐ に反粒子)が同数生まれ、すぐ しかし物質の方がわずかに崩 進しにくかったため、物質が こ しかし物質の方がわずかに崩 変更高などの方がわずかに崩 変更の研究から「完全」と、 の た中間子の協業をよく調べ に 大 動質(粒子) か同数生まれ、すぐ に た 中間子の協業をよく調べ に 大 地間能に増え、研究が 一気を含む た 中間子の協業をよく の 本 で きな た の た に た た し た し た し た の た に な た し た し た し た し た し た し た し た し な た し た し た し た し た し た し た し た し た し た た し た し た た し た な た な た し た し た た し た し た し た し た し た し た た た し た た な た し た し た し た た た な た た し た の た た な た な た た た た た な た た た た た た た た た た な た た た か た な た た た た な た た な た た た な た た た た な た た な た た な た た の た た の た た の た た な た た の た た な た の た た か た か た か た か た の た の た た た か し し し し し し し の た た か た か た た か っ た た の た た か し し し し た か た た か の た た か た か た 、 一 一 し し し し し し し し し し し し し	を厳密に解明するには、水素 子なら運動性を追跡できる」 迷体分子や薬剤がどう働くのか も、JーPARCの強い中性 ローナ たんにく そたとの当 れ言伯た美しし こんた 差 サイト・ション たんちょう げいしょう しょうかい たんちょう しょうかい ひょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい ひょうかい しょうかい しょうかい ひょうかい しょうかい しょうかい ひょうかい しょうかい ちょうかい ちょうかい しょうかい しょうかい ちょうかい しょうかい ひょうかい しょうかい ひょうかい しょうかい ひょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい しょうかい ひょうかい しょうかい ひょうかい ひょうかく ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうかく ひょうかい ひょうひょう ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうり ひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうり ひょうり ひょうひょうかい ひょうかい ひょうかい ひょうひょう ひょうひょう ひょうひょう ひょうひょうひょう ひょうり ひょうり
や耳で見聞きし	田田市の方法派 が、当時のアレ は、それたしよか アレイ君は離 アレイ君は離 アレイ君は離 アレイ君は離 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の項目を全て暗